

第22回市議会定例会

基本的な感染対策を継続しての開会となり、一般会計総額で20億1,166万3千円の補正予算を可決

第22回市議会定例会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことから、マスク着用、消毒、検温等の基本的な感染対策を継続し、ソーシャルディスタンスを取るため議場の空いている席を使用、傍聴者対応としては座席を空けソーシャルディスタンスを確保、マスクの着用を徹底し、5月31日（火）から6月10日（金）まで開かれ、報告9件、議案15件、諮問1件、意見書4件、その他の議事2件の審議が行われました。一般質問では6会派及び無所属を含め24人の議員より質問があり、危機管理、ゼロカーボン、男女平等参画行政、中心市街地活性化、まちづくりの政治姿勢、教育行政などについて議論が行われました。

また、各常任・特別委員会では、苫小牧市総合計画第7次基本計画骨子案、市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応、公益財団法人道央産業振興財団の事業、新雨量監視システム、米軍再編に伴う米軍機訓練移転、災害時応援協定の締結などについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

◆報告

継続事業で実施している東開文化交流サロン整備事業など3事業について令和3年度予算現額の一部を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業やプレミアム付商品券事業（第3弾）など11事業について繰越明許費に追加した事業費を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、消防施設・装備等整備事業において新型コロナウイルス感染症の影響等により耐熱服の付属品の一部について年度内の納品が困難となったため当該事業に係る予算の経費を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、令和3年度下水道事業会計予算のうち下水道築造工事に係る建設改良費を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、令和3年度水道事業会計予算のうち高丘浄水場管理棟設備更新事業に係る継続費を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、令和3年度下水道事業会計予算のうち西町下水処理センター消化ガス発電設備更新事業に係る継続費を令和4年度に繰り越した予算の繰越しについて、和解した人身及び物損事故に係る損害賠償の額の専決処分1件について報告がありました。

また、除雪に要する費用として5,463万9千円を増額補正した専決処分1件、令和4年度税制改正に伴う苫小牧市税条例の一部改正について本年3月31日付けで定めた専決処分1件について報告があり、承認されました。

◆議案

(人事案件)

苫小牧市公平委員会委員の選任について、高嶋めぐみ委員が辞職したため、後任者の松田奏保氏を選任することに同意しました。

(令和4年度一般会計補正予算)

1月から3月までの間における新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった指定管理者への補償金としてのコミュニティ施設補償金1, 124万2千円の増額補正、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった指定管理者への補償金としてのスポーツ施設補償金2, 747万4千円の増額補正、国補助金を活用し、マイナンバーカードのオンライン予約、申請から交付まで一元管理が可能なシステムを導入するマイナンバーカード交付管理システム事業費1, 379万8千円の増額補正、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を活用し、令和4年12月1日開設予定の東開文化交流サロンの指定管理費を計上する東開文化交流サロン指定管理費1, 575万1千円の増額補正、国の新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に伴う4回目接種委託料等に係る経費で、全額、国補助金等で行う新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費1億5,505万5千円の増額補正、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった指定管理者への補償金であるオートリゾートセンターハウス・温浴施設等補償金1, 509万円の増額補正、国からの交付金配分額の増に伴い、公園整備に係る工事費を増額する社会資本整備総合交付金事業費4, 550万円の増額補正、前年度のふるさと納税による寄附金を積み立てる総合戦略推進基金積立金1億5,117万5千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、指定管理施設において感染防止対策に要する経費を助成する指定管理施設管理維持体制持続化事業費1,650万円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、市民の日常生活に必要な不可欠な公共交通事業者等に対し、急激な燃料費高騰による影響額の一部を緊急的に支援する公共交通事業者等燃料価格高騰対策支援事業費1,418万円の増額補正、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある世帯の生活・暮らしの支援としての臨時特別給付金の支給に要する経費で、全額、国補助金により行う住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費5億6,811万4千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、高齢者施設等従事者の早期復職等を可能とするための検査体制の整備に要する高齢者施設等業務継続対策事業費1,663万2千円の増額補正、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯の生活を支援するための臨時特別給付金の支給に要する経費で、全額、国及び道補助金により行う低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費2億8,031万8千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、公衆浴場や貨物自動車運送事業者に対し、急激な燃料高騰による影響額の一部を支援する貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援事業費2億975万6千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が3年前までの同月比で30%以上減少するか、ひと月の仕入額または経費が3か年前までのいずれか1年の同

月を超え、かつ利益が10%以上減少した市内の中小・小規模事業者への支援金の給付に要する事業継続支援事業費2022億42万5千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、食材価格の高騰に対して、給食の水準を維持するため、学校給食会の支援に要する学校給食食材費高騰対策事業費2,736万8千円の増額補正、地方創生臨時交付金を活用し、水道事業会計が実施する水道料金の減免に伴う水道事業会計繰出金1億9,267万円の増額補正などについて、そのほか債務負担行為の補正として、東開文化交流サロンについて、令和5年度以降の指定管理費を追加することについて、原案どおり可決されました。

(令和4年度企業会計補正予算)

水道事業会計は、水道料金支援事業に係る事務費で、コロナ禍において、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を広く支援するため、家事用約8万600件、業務用約6,400件、浴場用7件の水道料金の基本料金2か月分について減免に要する経費について、原案どおり可決されました。

(条例の制定ほか)

国家公務員の給与改定に準じて特別職の職員及び一般職の職員に支給する期末手当の支給割合を引き下げる等のため、関係規定を整備する苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正、豊かな文化・芸術の世界を堪能できる場を提供することにより、人々の来訪や交流を促し、もってまちのにぎわいの創出及び市民文化の向上を図ることを目的として、市民文化ホールを設置する苫小牧市民文化ホール条例の制定、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、持続可能な東胆振圏域の救急医療体制の構築に向け、地域医療の将来を見据えながら継続した初期救急の確保に資するため、関係規定を整備する苫小牧市保健センター条例及び苫小牧市診療所条例の一部改正について、原案どおり可決されました。

また、苫小牧市民文化ホール及び苫小牧市東開文化交流サロンに係る指定管理者の指定については、原案どおり可決されました。

(事業契約の締結)

市民文化ホール整備運営に係る事業契約について、随意契約による、(仮称)苫小牧市民ホール整備運営事業164億4,862万4,244円について、原案どおり可決されました。

(契約の締結)

一般競争入札による、令和4年度日新団地市営住宅12号棟(5F60戸)新築主体工事11億990万円、令和4年度日新団地市営住宅12号棟(5F60戸)新築衛生設備工事2億3,430万円について、原案どおり可決されました。

(動産の取得)

買入れによる、凍結防止剤散布車2, 249万4, 260円及び高規格救急自動車2, 134万円の動産の取得について、原案どおり可決されました。

◆意見書

「森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書」「2022年度地方財政の充実・強化に関する要望意見書」「食料自給率向上を求める要望意見書」「2022年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書」が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。

◆諮問

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、引き続き大谷和広氏、新たに田中淳子氏を推薦することについて、可とすることに決定されました。